

## V ビデオ教材「学芸員の仕事」の評価調査

芝崎 順司・宮本 友弘

### 1. 目的

映像教材は、事前調査、企画の立案・検討、シナリオ作成、収録、粗編集、本編集、録音という一連の制作過程をへて完成に至る。しかし、研究開発の一環として映像教材開発を行う場合、映像教材が完成した後に評価調査を行うことが不可欠である。何故なら、映像教材の場合、他の映像資料と異なり、ある教育目標やねらいをもって制作されているので、その教育目標やねらいがどこまで達成されたかを調査し、その結果を次の教材開発のための実証的データとして利用することにより、映像教材開発の改善をはかる必要があるからである。

「学部教育教材の開発と評価」プロジェクトでも本報告書で報告した通り、平成5年度から6年度にかけて「博物館学芸員の仕事」に関するビデオ教材として、「有形民俗資料」シリーズ第1部「調査と収集」、第2部「資料整理」、第3部「展示」、および、「無形民俗資料」シリーズ第1部「調査と記録」、第2部「整理と保管」、第3部「民俗芸能の展示と公演」の6教材を開発した。それらのビデオ教材について、いくつかの大学の授業で実際に利用してもらい、授業者を対象とした教材の適切さ、有用性の評価、ならびに学生を対象とした内容の理解度・受容度の評価、学習効果の測定などの評価調査を行っている。

ここでは、「博物館学芸員の仕事」のうち、特に、平成5年度に開発した「有形民俗資料」シリーズ第1部「調査と収集」、第2部「資料整理」のそれぞれについて、学芸員養成課程を受講する学生を対象に行われた評価調査研究の概要を報告する。なお、他の教材の評価調査については現在データを整理中であり、結果がまとまり次第、報告する予定である。

### 2. 調査方法

**調査対象** 本プロジェクトの研究協力者2名が6つの大学で担当する学芸員養成課程の授業を受講する大学生のうち、「調査と収集」を184名が、「資料整理」を171名が視聴した。サンプル構成を表1に示す。

**調査票** 両ビデオ教材に対する評価で使用された調査票は、項目数とその記述内容に違いがあるものの、基本的な構成はともに以下の通りであった（付録1、付録2）。①学生の属性（学部、専攻、学年、学籍番号、年齢、性別）、②ビデオ教材にある学芸員の仕事内容についての事前知識の有無とその情報源、③ビデオ教材の内容に対する評価（5件法、「調査と収集」では6項目、「資料整理」では5項目）、④印刷教材の必要度、⑤映像・音声に対する評価（5件法、項目数は両ビデオ教材で同じ）、⑥テロップの読み取りやすさ、⑦ビデオ教材の長さの適切さ、⑧学芸員の仕事への興味、⑨ビデオ教材に対する意見・感想の自由記述。

**手続き** 調査は1994年11月～1995年1月にかけて、通常の授業を利用して行われた。

まず、学生にビデオ教材を視聴させ、その後、調査票を配布し回答させた。本調査の実施にあたっては、授業者である研究協力者と事前に十分な討議を行っており、すべての視聴条件は同じものとみなすことができると判断した。また、回収されたデータの集計は外部委託

によって行われた。なお、いくつかの質問事項については必要に応じて統計的検定を行った。その際、「無回答」のデータは分析から除外した。

表1 被験者のサンプル構成

	「調査と収集」			「資料整理」		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
日本大学芸術学部	37	7	30	38	4	34
駒沢女子大学人文学部	18	—	18	—	—	—
駒沢女子短期大学	56	—	56	58	—	58
文化学院大学短大部	45	—	45	45	—	45
島根大学理学部	22	13	9	22	12	10
島根大学法文学部	6	5	1	8	7	1
合計	184	25	159	171	23	148

### 3. 調査結果の概要

以下、各ビデオ教材ごとに結果を述べる。

#### (1) 「調査と収集」に関する評価

①ビデオ教材の内容に関する事前知識とその情報源 「調査と収集」の仕事の内容について「視聴前に知っていましたか」という質問に対し、「はい」が47.3%、「いいえ」が52.2%であった（表2）。また、「はい」と回答した者の90.8%は、その情報源が「講義で」であった。したがって、ここでの被験者はこれまでの授業において、「調査と収集」に関する内容の講義を受けているが、半数程度がその内容を忘れていたと思われる。このことは、授業での学習態度、あるいは、学芸員自体に対する動機づけを反映しているものと考えられる。そこで、以後の分析では、事前知識の有無も要因に組み込んで検討する。

表2 「調査と収集」の仕事内容についての事前知識

	「はい」	「いいえ」	無回答	合計
人数	87	96	1	184
%	47.3	52.2	0.5	100.0

②ビデオ教材の内容に対する評価 表3は、「調査と収集」の内容に関する6つの評価項目についての平均とSDを被験者全体、及び、事前知識の有無別に示したものである（5件法で、5－「ひじょうによく理解できた」～1－「まったく理解できなかった」）。被験者全体の平均をみると、最低が「仕事の中での調査・収集の位置づけ」の3.47であり、全項目においておおむね高く評価していることがわかる。項目別にみると、特に、「調査収集に必要な用具や

機材]、「現場でのマナー」、「調査での聞き取り項目」など具体的な事例手続き・技能に関わる内容が高い。一方、「仕事の中での調査・収集の位置づけ」「調査・収集の目的」などの抽象的な知識に関わる内容は低い。このことから、本ビデオ教材において具体的な事例、すなわち、学芸員の作業場面や物によって呈示された情報に関しては理解され易いが、それに比べ、解説やテロップなどの言語によって呈示された情報に関しては理解されにくいことが推測される。

被験者の事前知識の有無別の評価は、ともに全体の評価と同じ傾向を示している。また、群間に著しい差は認められない。

表3 「調査と収集」の内容に関する評価

評価項目	全体 N=184		事前知識あり N=87		事前知識なし N=96	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD
仕事の中での調査・収集の位置づけ	3.47	0.81	3.56	0.79	3.39	0.83
事前に準備すること	3.57	0.91	3.52	0.90	3.62	0.92
調査・収集の目的・意義	3.51	0.91	3.51	0.91	3.50	0.91
調査収集に必要な用具や機材	3.91	0.90	3.87	0.93	3.95	0.88
現場でのマナー	3.72	1.00	3.62	0.90	3.81	1.06
調査での聞き取りの項目	3.65	0.98	3.65	0.99	3.65	0.96

③印刷教材の必要性 表4は、このビデオ教材に対する印刷教材の必要性についての質問に対する回答者数を被験者全体、及び、事前知識の有無別に示したものである。被験者全体では、人数に有意な偏りがみられ ( $\chi^2(1)=6.69, p<01$ )、「はい」よりも「いいえ」の人数が多いといえる。事前知識別にみても、ともに同様の傾向を示している。とはいえ、必要性を感じている学生は約4割ほどおり、印刷教材が必要ではないということではない。むしろ、個人の興味・知識に応じて、印刷教材を利用していくことが望ましいと考えられる。

表4 「調査と収集」に対する印刷教材の必要性

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
「はい」	74	40.2	38	43.7	36	37.5
「いいえ」	109	59.3	49	56.3	60	62.5
無回答	1	0.5	—	—	—	—
計	184	100.0	87	100.0	96	100.0

④ビデオ教材の映像・音声、テロップ、長さの評価 表5は、このビデオ教材の映像・音声に関する7つの評価項目についての平均とSDを示したものである（5件法で、5－「ひじようにはっきり見えた（聞き取れた）」～1－「まったく見えなかった（聞き取れなかった）」）。まず、被験者全体の平均をみると、全項目において高く評価していることがわかる。特に、映像については「調査風景」が3.96、音声については「調査中の会話」が3.91と最も高い。このことから、本ビデオ教材において実際の学芸員の作業場面が適切に映像化されているといえ、また、先のビデオ教材の内容の評価において、学芸員の作業場面に関連した情報の理解が高く評価されたことに反映していると推測される。

事前知識の有無別の評価は、全体の評価と同様の傾向を示している。群間に著しい差は認められないが、事前知識あり群が全体的に高く評価している。

表5 「調査と収集」の映像・音声に関する評価

評価項目	全体 N=184		事前知識あり N=87		事前知識なし N=96	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD
<u>映像について</u>						
田村先生の話	3.77	0.89	3.80	0.89	3.73	0.88
図表	3.69	1.04	3.63	1.15	3.74	0.93
学芸員の解説	3.69	0.91	3.79	0.87	3.60	0.94
調査風景	3.96	0.93	4.02	0.90	3.91	0.96
<u>音声について</u>						
田村先生の話	3.57	0.98	3.60	0.99	3.55	0.97
学芸員の解説	3.80	0.94	3.87	0.89	3.73	0.97
調査中の会話	3.91	0.96	3.98	0.90	3.84	1.00

テロップの読み取り易さについては、ほとんどの被験者が「はい」（90.2%）と回答しており、事前知識の有無別の差も認められない（表6）。

ビデオの長さについては、被験者全体でみると、大きく「適切である」（54.3%）と「長い」（42.9%）に別れており、「短い」と回答した被験者はほとんどいない（表7）。事前知識の有無別にみると、「長い」と「適切である」の人数の分布が異なっている。そこで、 $\chi^2$ 検定を行ったところ、有意な人数の偏りが認められた（ $\chi^2(1)=8.22, p<01$ ）。残差分析の結果、事前知識あり群では「適切である」の人数が多く、逆に、事前知識なし群では「長い」の人数が多かった。このことから、本ビデオ教材の長さである30分は、学生にとっては「短い」ということはないが、事前知識がないと「長い」と感じられるようである。

表6 「調査と収集」におけるテロップの読みとり易さ

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
「はい」	166	90.2	77	88.5	89	92.7
「いいえ」	17	9.3	10	11.5	7	7.3
無回答	1	0.5	—	—	—	—
計	184	100.0	87	100.0	96	100.0

表7 「調査と収集」の長さに関する評価

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
長い	79	42.9	28	32.2	51	53.1
適切である	100	54.3	57	65.5	43	44.8
短い	2	1.1	2	2.3	—	—
無回答	3	1.7	—	—	2	2.1
計	184	100.0	87	100.0	96	100.0

⑤学芸員の仕事への興味 表8は、本ビデオ教材を視聴して「学芸員の仕事に興味を持ちましたか」に対する回答者数を被験者全体、及び、事前知識の有無別に示したものである。被験者全体では、「はい」が50.0%、「いいえ」が47.3%でほぼ同数であるが、事前知識の有無別では異なって分布している。そこで、 $\chi^2$ 検定を行ったところ、有意な人数の偏りが認められた ( $\chi^2(1)=33.45, p<01$ )。残差分析の結果、事前知識あり群では、「はい」の人数が多く、逆に、事前知識なし群では「いいえ」の人数が多かった。ビデオ視聴後の学芸員の仕事への興味は、当該の仕事に関する事前知識の有無が影響しているようである。

表8 「調査と収集」視聴後の学芸員の仕事への興味の喚起

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
「はい」	92	50.0	63	72.4	29	30.2
「いいえ」	87	47.3	22	25.3	65	67.7
無回答	5	2.7	2	2.3	2	2.1
計	184	100.0	87	100.0	96	100.0

## (2)「資料整理」に関する評価

①ビデオ教材の内容に関する事前知識とその情報源 「資料整理」の仕事の内容について「視聴前に知っていましたか」という質問に対し、「はい」が60.2%、「いいえ」が39.8%であった(表9)。また、「はい」と回答した者の84.5%は、その情報源が「講義で」であった。したがって、被験者は先の「調査と収集」と同様に、「資料整理」に関する内容の講義を受けているが、4割程度はその内容を忘れていると思われる。そこで、以後の分析も「調査と収集」と同じ観点から検討する。

表9 「資料整理」の仕事内容についての事前知識

	「はい」	「いいえ」	合計
人数	103	68	171
%	60.2	39.8	100.0

②ビデオ教材の内容に対する評価 表10は、「資料整理」の内容に関する4つの評価項目についての平均とSDを被験者全体、及び、事前知識の有無別に示したものである(5件法で、5-「ひじょうによく理解できた」~1-「まったく理解できなかった」)。被験者全体の平均をみると、全項目においておおむね高く評価していることがわかる。項目別にみると、「資料整理の手順」が3.69で最も高く、次いで、「資料整理の目的・意義」の3.57、「資料整理に必要な用具や機材」の3.52、「仕事の中での資料整理の位置づけ」の3.38の順である。「調査と収集」と比べ、具体的な手続き・技能に関わる内容と抽象的な知識に関わる内容との間に明確な差はみられないが、少なくとも、学芸員の作業場面によって呈示された情報に関しては理解され易いことがうかがえる。

被験者の事前知識の有無別の評価は、ともに全体の評価と同じ傾向を示している。群間に著しい差は認められないものの、「調査と収集」とは対照的に、一貫して事前知識あり群の方が高く評価している。

表10 「資料整理」の内容に関する評価

評価項目	全体 N=171		事前知識あり N=103		事前知識なし N=68	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD
仕事の中での資料整理の位置づけ	3.38	0.85	3.53	0.73	3.15	0.96
資料整理の目的・意義	3.57	0.85	3.76	0.71	3.28	0.95
資料整理の手順	3.69	1.06	3.85	0.97	3.46	1.14
資料整理に必要な用具や機材	3.52	0.91	3.60	0.88	3.40	0.94

③印刷教材の必要性 表11は、このビデオ教材に対する印刷教材の必要性についての質問に対する回答者数を被験者全体、及び、事前知識の有無別に示したものである。被験者全体では、人数に有意な偏りは認められず、「はい」、「いいえ」の人数はほぼ同数といえる。また、事前知識別でも同様であった。したがって、「調査と収集」の結果と同じように、個人の興味・知識に応じて、印刷教材を利用していくことが望ましいと考えられる。

表11 「資料整理」に対する印刷教材の必要性

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
「はい」	81	47.3	47	45.6	34	50.0
「いいえ」	87	50.9	53	51.5	34	50.0
無回答	3	1.8	3	2.9	—	—
計	171	100.0	103	100.0	68	100.0

④ビデオ教材の映像・音声、テロップ、長さの評価 表12は、このビデオ教材の映像・音声に関する7つの評価項目についての平均とSDを示したものである（5件法で、5－「ひじようにはっきり見えた（聞き取れた）」～1－「まったく見えなかった（聞き取れなかった）」）。まず、被験者全体の平均をみると、全項目において高く評価していることがわかる。項目別にみると、映像、音声ともに、「田村先生の話」（映像3.75、音声3.71）が最も高い。「田村先生」とはビデオ中において、当該の学芸員の仕事の目的・意義などの抽象的な知識について解説するホスト役のことであるが、その映像・音声に対する高い評価が、先のビデオ教材の内容の評価において、「資料整理の目的・意義」の高い評価に反映したものと推測される。一方、映像面では「資料整理風景」、音声面では「資料整理中の会話」が最も低い。おそらく、「資料整理」は「調査と収集」に比べ、緻密な作業と学芸員どうしの小声によるやりとりが多くなったためと考えられる。

事前知識の有無別の評価は、全体の評価と同様の傾向を示している。群間に著しい差は認められないが、事前知識あり群が全体的に高く評価している。

表12 「資料整理」の映像・音声に関する評価

評価項目	全体 N=171		事前知識あり N=103		事前知識なし N=68	
	平均	SD	平均	SD	平均	SD
<u>映像について</u>						
田村先生の話	3.75	0.91	3.76	0.88	3.72	0.95
図表	3.46	0.98	3.56	0.99	3.32	0.96
学芸員の解説	3.39	0.98	3.56	0.91	3.15	1.03
資料整理風景	3.39	1.00	3.50	1.03	3.23	0.93
<u>音声について</u>						
田村先生の話	3.71	0.94	3.76	0.87	3.63	1.04
学芸員の解説	3.54	1.05	3.65	0.97	3.38	1.14
資料整理中の会話	3.18	1.07	3.26	0.98	3.06	1.19

テロップの読み取り易さについては、ほとんどの被験者が「はい」(83.6%)と回答しており、事前知識の有無別の差も認められない(表13)。

ビデオの長さについては、被験者全体でみると、大きく「適切である」(52.6%)と「長い」(45.6%)に別れており、「短い」と回答した被験者はほとんどいない(表14)。事前知識の有無別にみると、「長い」と「適切である」の人数の分布が異なっている。そこで、 $\chi^2$ 検定を行ったところ、有意な人数の偏りが認められた( $\chi^2(1)=9.77, p<01$ )。残差分析の結果、事前知識あり群では「適切である」の人数が多く、逆に、事前知識なし群では「長い」の人数が多かった。先の「調査と収集」の結果と同様に、本ビデオ教材の長さである30分は、学生にとっては「短い」ということはないが、事前知識がないと「長い」と感じられるようである。

表13 「資料整理」におけるテロップの読みとり易さ

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
「はい」	143	83.6	84	81.6	59	86.8
「いいえ」	26	15.2	17	16.5	9	13.2
無回答	2	1.2	2	1.9	—	—
計	171	100.0	103	100.0	68	100.0



表14 「資料整理」の長さに関する評価

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
長い	78	45.6	37	35.9	41	60.3
適切である	90	52.6	64	62.1	26	38.2
短い	1	0.6	1	1.0	—	—
無回答	2	1.2	1	1.0	1	1.5
計	171	100.0	103	100.0	68	100.0

⑤学芸員の仕事への興味 表15は、本ビデオ教材を視聴して「学芸員の仕事に興味を持ちましたか」に対する回答者数を被験者全体、及び、事前知識の有無別に示したものである。被験者全体では、「はい」が46.2%、「いいえ」が52.6%でほぼ同数であるが、

事前知識の有無別では異なって分布している。そこで、 $\chi^2$ 検定を行ったところ、有意な人数の偏りが認められた ( $\chi^2(1)=15.08, p<0.1$ )。残差分折の結果、事前知識あり群では、「はい」の人数が多く、逆に、事前知識なし群では「いいえ」の人数が多かった。

「調査と収集」の結果と同様に、ビデオ視聴後の学芸員の仕事への興味は、当該の仕事に関する事前知識の有無が影響しているようである。

表15 「資料整理」視聴後の学芸員の仕事への興味の喚起

	全体		事前知識あり		事前知識なし	
	人数	%	人数	%	人数	%
「はい」	79	46.2	60	58.2	19	27.9
「いいえ」	90	52.6	42	40.8	48	70.6
無回答	2	1.2	1	1.0	1	1.5
計	171	100.0	103	100.0	68	100.0

#### 4. まとめ

本調査の結果をまとめてみると、ビデオ教材の内容に対する評価は全体として「調査と収集」、「資料整理」の両教材ともおおむね高いので、内容の難易度はほぼ妥当であったと考えられる。特に具体的な映像提示による情報に対して理解度が高いのはビデオ教材の特性として十分考えられることである。

ビデオ教材の映像・音声に対する評価は、制作者（ディレクター）に対するフィードバック情報として重要である。これについてもおおむね高く評価されているが、「資料整理」における「資料整理中の会話」についての評価が比較的低かったことは、今後開発する「学芸員の仕事」シリーズの中でも同様の場面が多いことが予想されるため、注意を要する。また、映像・音声に対する評価と内容の理解との間に関連性がみられることから、表現面での適切化をはかることが、内容の理解にも深くかかわるといえよう。

次に事前知識の有無別の評価であるが、両教材に共通して、ビデオ教材の映像・音声に対する評価、およびビデオ視聴後の学芸員の仕事への興味とビデオ教材の長さについての評価の項目で有意な人数の偏りがみられた。このことから事前知識あり群の方が、ビデオ教材に対する注視度が高いといえるのではないだろうか。つまり本ビデオ教材の視聴前に事前知識を付与することが、教材に対する注視度を高めると考えられる。しかし、事前知識の有無の差が授業での学習態度、あるいは、学芸員自体に対する動機づけを反映しているとすれば、本ビデオ教材視聴による特有の傾向とは断言できない。

しかしながら、事前知識なし群において、ビデオ教材を長いと評価した学生が両教材とも過半数を越え、また、視聴後に学芸員の仕事に興味をもった学生が30%前後であったことから、教材の内容や構成の面で、学生の興味や関心を高めるような工夫をしていくことが望まれる。

とはいえ、本研究は質問紙法による調査研究であることから、厳密な条件設定を行っていない。従って、上記の結果から一義的な結論づけをすることはできない。今後はこうした質問紙法以外の評価研究をおこなっていく必要がある。

ともあれ、本調査研究の結果は、教材を開発していく上で、有益な示唆を与えると同時に、今後の評価研究のための基礎づけとなるであろう。

# 付録 1

## 「博物館学芸員」のビデオ教材に関する調査(1)

放送教育開発センター

この調査は、先ほど視聴していただいた「有形民俗資料の調査と収集」について、みなさんの評価や印象をお聞きするものです。以下の各質問について、あてはまる記号、番号に○印をつけてください。なお、個人のデータは研究以外の目的には使用されません。

学部： \_\_\_\_\_ 専攻： \_\_\_\_\_ 学年： \_\_\_\_\_ 年

学籍番号： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_\_ 歳 性別： 男・女

1. このビデオを視聴する前に、学芸員の「調査・収集」の仕事の内容について知っていましたか。

a. はい      b. いいえ

「はい」と答えた方はどのような方法で知りましたか。

a. 講義で      b. 教科書や他の本で      c. その他 (      )

2. このビデオを視聴して、「調査・収集」の以下の内容がどの程度理解できましたか。「ひじょうによく理解できた」を5、「まったく理解できなかった」を1として、5段階で評価して下さい。

① 仕事の中での調査・収集の位置づけ	5 - 4 - 3 - 2 - 1
② 事前に準備すること	5 - 4 - 3 - 2 - 1
③ 調査・収集の目的・意義	5 - 4 - 3 - 2 - 1
④ 調査・収集に必要な用具や機材	5 - 4 - 3 - 2 - 1
⑤ 現場でのマナー	5 - 4 - 3 - 2 - 1
⑥ 調査での聞きとりの項目	5 - 4 - 3 - 2 - 1

3. このビデオに印刷教材(テキスト)が必要だと思いますか。

a. はい      b. いいえ

4. 以下の場面の映像と音声はどの程度はっきりしていましたか。「ひじょうにはっきり見えた（聞き取れた）」を5、「まったく見えなかった（聞き取れなかった）」を1として、5段階で評価して下さい。

(1)映像について

① 田村先生の話	5 - 4 - 3 - 2 - 1
② 図表	5 - 4 - 3 - 2 - 1
③ 学芸員の解説	5 - 4 - 3 - 2 - 1
④ 調査風景	5 - 4 - 3 - 2 - 1

(2)音声について

① 田村先生の話	5 - 4 - 3 - 2 - 1
② 学芸員の解説	5 - 4 - 3 - 2 - 1
③ 調査中の会話	5 - 4 - 3 - 2 - 1

5. テロップ（字幕）はよく読み取れましたか。

a. はい      b. いいえ

6. このビデオの長さはいかがでしたか。

a. 長い      b. 適切である      c. 短い

7. このビデオを視聴して学芸員の仕事に興味をもちましたか。

a. はい      b. いいえ

8. その他、内容または映像・音声に意見・感想がありましたら、自由にお書き下さい。

(1)内容について

(2)映像・音声について

## 付録 2

### 「博物館学芸員」のビデオ教材に関する調査(2)

放送教育開発センター

この調査は、先ほど視聴していただいた「有形民俗資料の整理」について、みなさんの評価や印象をお聞きするものです。以下の各質問について、あてはまる記号、番号に○印をつけてください。なお、個人のデータは研究以外の目的には使用されません。

学部： \_\_\_\_\_ 専攻： \_\_\_\_\_ 学年： \_\_\_\_\_ 年

学籍番号： \_\_\_\_\_ 年齢： \_\_\_\_\_ 歳 性別： 男・女

1. このビデオを視聴する前に、学芸員の「資料整理」の仕事の内容について知っていましたか。

a. はい      b. いいえ

「はい」と答えた方はどのような方法で知りましたか。

a. 講義で      b. 教科書や他の本で      c. その他 ( \_\_\_\_\_ )

2. このビデオを視聴して、「資料整理」の以下の内容がどの程度理解できましたか。「ひじょうによく理解できた」を5、「まったく理解できなかった」を1として、5段階で評価して下さい。

① 仕事の中での資料整理の位置づけ	5 - 4 - 3 - 2 - 1
③ 資料整理の目的・意義	5 - 4 - 3 - 2 - 1
④ 資料整理の手順	5 - 4 - 3 - 2 - 1
⑤ 資料整理に必要な用具や機材	5 - 4 - 3 - 2 - 1

3. このビデオに印刷教材（テキスト）が必要だと思いますか。

a. はい      b. いいえ

4. 以下の場面の映像と音声はどの程度はっきりしていましたか。「ひじょうにはっきり見えた（聞き取れた）」を5、「まったく見えなかった（聞き取れなかった）」を1として、5段階で評価して下さい。

(1)映像について

- |          |                   |
|----------|-------------------|
| ① 田村先生の話 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| ② 図表     | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| ③ 学芸員の解説 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| ④ 資料整理風景 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

(2)音声について

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| ① 田村先生の話   | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| ② 学芸員の解説   | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| ③ 資料整理中の会話 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

5. テロップ（字幕）はよく読み取れましたか。

a. はい      b. いいえ

6. このビデオの長さはいかがでしたか。

a. 長い      b. 適切である      c. 短い

7. このビデオを視聴して学芸員の仕事に興味をもちましたか。

a. はい      b. いいえ

8. その他、内容または映像・音声に意見・感想がありましたら、自由にお書き下さい。

(1)内容について

(2)映像・音声について